

関係機関の長 殿

独立行政法人国立高等専門学校機構

奈良工業高等専門学校長

後 藤 景 子 (公 印 省 略)

教員の公募について (依頼)

貴機関におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本校では下記の通り一般教科 (国語科) の教員を公募することとなりました。

つきましては、貴機関関係者への周知方並びに適任者のご推薦について、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 職名・人員 教授, または准教授 1名
2. 所属学科 一般教科 (国語科)
3. 担当教科 国語, および国語関連科目
4. 応募資格
 - (1) 修士以上の学位を有する方, または着任までに取得見込みの方。博士の学位を有する方が望ましい。
 - (2) 本校の教育方針に賛同し, 本校在籍の教職員および非常勤講師と協力して教育・研究・学生指導 (学級担任, クラブ顧問, 寮生指導, 国際交流など)・校務・地域貢献などを進められる方。
 - (3) 本校の管理・運営にあたる能力を有する方。
 - (4) 大学, 高専, 高等学校などでの教育経験を有する方, 高等学校教諭免許状 (国語) を有する方が望ましい。
 - (5) 過去5年以内に1編以上の著書・査読付き論文等を有する方。
 - (6) 高専の学生に高等学校の教科書 (現代文・古文・漢文) を用いて国語の聞く力, 話す力, 読む力, 書く力を総合的かつ効率的に伸ばす教育のほか, レポート・小論文などの作成についても指導できる方。末尾の「奈良高専における国語教育について」で触れた, いずれの科目も担当できる方が望ましい。将来的には, 社会科や外国語科との複合・融合された科目の立案や担当をする可能性もある。
5. 採用予定日 令和4年4月1日以降のできるだけ早い時期
6. 雇用形態 任期の定めなし (定年は63歳)。1日7時間45分, 週5日勤務。
7. 提出書類
 - (1) 履歴書: 氏名, 現住所 (連絡先) は, 自筆で記入。
・数か月以上の海外滞在経験がある場合はその内容を簡単に記載。
 - (2) 研究業績一覧
 - (3) 主要著書・論文等の別刷 (3編以内, 写し可) および各々の概要 (論文1編につき1枚)

- (4) 教育歴一覧：機関名・授業科目・週当たりの時間数・期間を記入し、シラバスや授業アンケート結果があれば添付して下さい。
- (5) 高等専門学校における教育と学生指導に対する抱負
- (6) 着任後の研究計画：専門が異なる教員も選考に加わりますので、できるだけわかりやすく記述して下さい。（図版、写真の挿入も可。）
- (7) 照会可能な方2名の氏名・所属機関・連絡先（電子メールアドレスを含む）
- (8) 可能であれば推薦書1通

※(1), (2), (3)については、本校ホームページ > 「採用情報」

<https://www.nara-k.ac.jp/employ/saiyo/advertise/>
からダウンロードできる様式を使用して下さい。

※(3)の別刷以外は全て A4片面印刷 で提出して下さい。

※(4), (5), (6), (7) はいずれも書式自由とし、A4片面印刷1枚程度とします。

※提出頂いた書類は原則お返しできませんが、返却を希望される場合は、宛名、送付先を明記した宅配便の着払い用伝票を同封して下さい。

※後日、着任手続きのために電子ファイル形式での書類提出のお願いをすることがあります。

8. 応募期限 令和4年2月7日（月）必着

9. 選考方法 第1次選考 書類審査

第2次選考 第1次選考合格者を対象に面接および模擬授業審査

（令和4年2月中を予定）

※第2次選考に伴う旅費・宿泊費等は応募者の負担とします。

※本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（教育、研究、社会貢献、人物を含む）の評価において同等と認められる場合には、女性応募者を優先させていただきます。

10. 問合せ先 奈良工業高等専門学校 一般教科主任 松井 良明

電話番号：0743-55-6067

電子メール：koubor4k2@libe.nara-k.ac.jp

11. 書類提出先 〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町2番地

奈良工業高等専門学校 総務課人事係 電話番号：0743-55-6014

封筒に「国語科教員応募書類在中」と朱書きし「特定記録」で郵送下さい。

12. その他 応募者の個人情報、奈良工業高等専門学校の教員選考および採用資料としてのみ利用し、個人情報保護法に基づき適正に扱います。

以上

《奈良工業高等専門学校一般教科公募補足資料》

◆ 奈良高専の教員が携わる授業以外の職務概要

本校には本科（５年）と専攻科（２年）があります。高専はその教育目標や年齢層（本科：15～20歳，専攻科 20～22歳）の幅広さなどから，大学や高等学校とは本質的に異なる点があり，教員は教育，研究，学校運営，学生の生活指導など多様な業務を要求されます。以下では，奈良高専の教員（一般教科）の教科指導以外の職務についての認識を深めていただくために，主な職務の概要を記します。

① 学級担任

学級担任は，１学級４０人程度の学生への勉学や生活指導など，学校生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。例えば，ホームルームや教室清掃をはじめスポーツ大会や高専祭など各種行事での指導，学生の個人面談や保護者との懇談なども行います。

② 学校運営のための各種委員会

教務委員会，学生委員会，寮務委員会をはじめ各種の委員会等があり，基本的に教員は委員として学校運営に参加します。場合によっては複数の委員会に所属することもあります。

③ 研究

高専の教員には，最先端の教育を行うために研究に対する意欲的な姿勢と研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されています。

④ クラブ顧問

ほぼすべての教員がクラブ顧問として日常的な課外活動指導をはじめ，各種コンテストまたは高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や各種大会および練習試合の引率，合宿時の指導などを行っています。

⑤ 学生寮の宿直

原則として全教員が交代で学生寮の宿直を行い，巡回・点呼，緊急時の対応などにあたっています。

⑥ その他

入試問題作成と採点業務があります。併せて「奈良高専における国語教育について」を参照して下さい。

◆ 奈良高専における国語教育について

本校国語科では、工業高専というユニークな学校制度において、どのような国語教育が学生にとって真に有効か、さらに学生の人間性涵養にも資するにはどうすればよいか、常によりよい方法を探りつつ教育に取り組んでいます。

本科1年から3年においては（「国語Ⅰ」「国語Ⅱ」「国語Ⅲ」）、高校3年間相当の国語力を身につけさせるべく、検定教科書を使用し、古典も含めた文学作品や評論などさまざまな文章を読ませ、できる限り自分の考えを発表・表現させるようにしています。

4年では技術者として各自の専門分野や研究内容を、他者に正確に伝える能力の育成を目的として、「国語表現法」を必修科目としています。また5年では、教養を深めるための選択科目の一つとして「日本文化学」を開講しており、従来の国語教育にとどまらず、技術者に必要な表現力と論理的思考力、幅広い視野を学生に身につけさせるよう努めています。

その他に国語科では、教育支援センター運営委員会と協力して毎年読書感想文コンクールを実施しています。また、地域貢献の一環として公開講座「日本文学講座」を国語科教員全員で担当するかたちで実施しています。

これからの本校の国語教育に他の教員と協力しながら意欲的に取り組んで頂ける方、アクティブ・ラーニングや協働学習など、学生にとってより効果的とされる新しい教育方法を積極的に試行し、辛坊強く学生に理解を促すことのできる方の応募を望んでいます。